

特集

心のケア技術を 高めるために

特殊疾患療養病棟での取り組み

内科を主とした当院は、介護病棟（30床）、医療療養病棟（30床）、特殊疾患療養病棟（40床）の3病棟編成（定床数100床）です。

特殊疾患療養病棟には、神経難病や重度意識障害のある方が入院されています。人工呼吸器を装着されている方もおり、コミュニケーションの取り方も様々です。

昨年10月に「平成16年度 福岡県重症神経難病患者入院施設確保事業 九州・筑豊ブロック研修会」にて、当病院特殊疾患療養病棟の看護師長が「困難事例を考える」というテーマで、神経難病ケアの実際と課題の事例を発表しました。



当日の弥永さんの発表内容

人工呼吸器装着患者の接続回路を自己抜去する一例

～病院看護師の立場から～

特殊疾患療養病棟
看護師長 弥永 理恵

1. 事例紹介
2. 経過 ～問題点とその対策～
3. 結果に基づく考察

- 人工呼吸器装着による不安や意志疎通の不十分さから生じる寂しさ、本人が求める人との交流を満たすためには、全職員の一致した言動・接遇が重要である。
- 気分転換やより良い療養環境作りには、職員の温かい心と家族の愛情が重要である。
- コミュニケーションを成立させるための機器を、関係機関との連携で導入することが必要である。

人工呼吸器を装着している患者様が、接続回路をご自分で抜去するという症例を体験したことで、精神的看護の難しさを痛感しました。同時に、患者様の精神的援助には深い愛情と忍耐が必要であると強く感じています。今後は、患者様とご家族の皆様を意識を尊重した看護技術とコミュニケーション技術の向上を目指し、より一層安全で安楽な療養生活を送っていただけるように、スタッフ一同、心からの看護を目指し頑張っていきたいと思えます。

病棟紹介
介護病棟

より多くの 家庭復帰を 目指して

介護病棟では、患者様が安心して入院生活を楽しく、有意義に送れるよう日々努力しています。

5つの基本ケア「起きる」「食べる」「排泄」「清潔」「アクティビティ（日常生活の活性化）」を中心に、その人の個性・尊厳・可能性を見だし、その人らしい生活を送っていただけることを目指しています。

「寝たきりにさせない」「寝たきりをつくらない」をモットーに、起床と離床のバランスをとり、日中は出来るだけベッドを離れた生活をしていただいています。3度の食事も出来るだけ食堂に行き、他の患者様と一緒に食べていただいています。

また、週2回の入浴と週1回の清拭で清潔を保っています。おむつを着用している患者様にも、トイレで排泄できるように援助しています。

病院の生活すべてにおいてリハビリの視点を追及し、できることは自分で行っていただき、その援助を基本としています。しかし、無理強いせず、自分ですることの必要性を理解してもらい、働きかけています。スタッフ全員でチームワークと明るさをモットーに、より多くの患者様が家庭復帰できるように努力しています。



通所リハビリテーション日記

門司港 レトロと ひな人形展



おひな様を囲んで
「はい、チーズ！」

2月23日、25日の2日間を利用して、通所リハビリテーションの皆さんで「門司港レトロ地区ひな人形展」を見学に行きました。両日とも天候に恵まれ、暖かい中でのドライブとなりました。

ほとんどの皆さんが、久しぶりに門司港を訪れたそうです。観光地としてにぎわっているレトロ地区を見て「昔は人も少なかったのにねえ。」と驚き顔。また、建物の説明文を見て「私が生まれたすぐ後に作られたんやね。」「この建物は私と年が変わらんやん。」など、楽しそうに見物されていました。

建物の中に展示されているひな人形は、種類も飾り方も様々で「こんな風に飾ったら可愛いね。」と皆さん満足顔。たくさんのおひな様に囲まれて、楽しい見学となりました。

いつもは通所リハ室で過ごしている利用者の皆さんにとって、このような外出は良い気分転換になり、大変リフレッシュできたようです。

これから暖かな日が続きますので、いろいろな見学に出かける予定です。是非、ご参加ください。お待ちしております。



「こんな飾り方も
素敵だね。」

トピックス



おやつ バイキング



の開催

春の暖かさにはまだ少し早く、雪もちらつく2月24日。当院にて「おやつバイキング」を開催しました。

梅の花の練りきりや紅茶の香りがあるシフォンケーキ、苺ソースののつた杏仁豆腐、抹茶ムース、スイートパンプキン、そしてバナナアイス添えた焼きバナナ。6種類のおやつの中から、入院患者の皆様に2種類選んで召し上がっていただきました。

食事制限のある方や食事介助の必要な方もおられました。多くの方に参加していただくことができました。この「おやつバイキング」は、当院では初めての試みで、お菓子作りのプロが一つひとつ心を込めて作りあげました。患者様は「美味しいですね。」と



喜んでくださり、なかには3個目を希望される方もいらっしゃいました。和やかな雰囲気の中で、美味しく楽しいひとときを過ごしていただくことができ、盛況のうちに「おやつバイキング」は終了しました。

理念

誠意・信頼・安心

基本方針

- 1・患者さんの意志と権利を尊重した医療の提供
- 2・患者さんと医療情報を共有し、患者さん本位の誠実な医療の推進
- 3・質の高い医療を提供するために職員の教育・設備の安全・保守管理の徹底
- 4・患者さんが継続して、一貫した受診が出来るよう地域医療機関との緊密な連携